



2/8 NST 学習会の報告です。参加者 14 名でした。

EPA1100 についてアイドゥ株式会社担当者から、がん細胞の代謝について久保医師よりお話しいただきました。



EPA1100 はその名のとおり、1 包中に EPA (エイコサペンタエン酸) を 1100mg 配合した n-3 系油脂高含有製剤です。100 ~ 200cc の飲料などに加えて攪拌するだけで異味なく経口でおいしく飲むことができます。飲むヨーグルトに混ぜて試飲しましたが、美味しかったです。



EPA の主な効果は・血小板凝固集抑制、血栓溶解・血液粘度低下・血清中性脂肪低下・抗炎症作用 (炎症性サイトカインの低下)・たんぱく質分解因子 (RIF) の低下 (ガン悪液質時の体重減少抑制) です。

がん細胞の代謝の特徴としては、低酸素状態でもエネルギーを産生する仕組みになっており、特殊な状況下 (低酸素状態など) でも増殖できるようにプログラミングされている強かな細胞です。しかも、正常な細胞の免疫力を低下させ、自らの細胞が死滅するのを抑制するようになっています。では、がん細胞とどう戦えばいいのでしょうか・・・。がん細胞では、ブドウ糖とグルタミンが重要なエネルギー源になっていることから、高炭水化物はがんの (発生) 進行を促進する可能性があるともいわれています。反対に、脂肪酸が分解してできるケトン体はがん細胞はエネルギー源として利用できません。がん細胞と戦うには、すぐにエネルギーになる中鎖脂肪酸や抗炎症作用・たんぱく質分解因子の低下作用の効果がある EPA など効率のよい脂肪を食事に取り入れましょう。

次回の学習会は 03月08日 第2水曜日 17:30~ です。

テーマ「褥瘡の栄養管理」 講師：ニュートリー株式会社担当者 です。

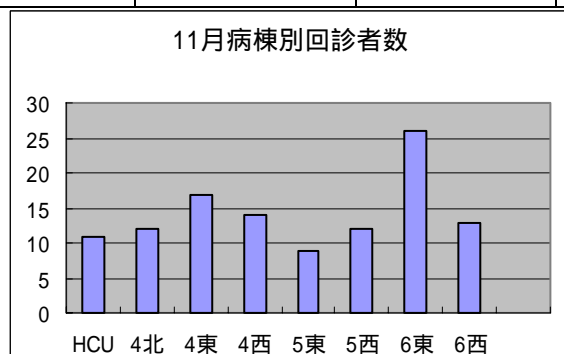
褥瘡の栄養管理についても詳しくお話ししていただけます。

どなたでも参加できるオープン形式ですので、お気軽にお越しください。



1 月分の実績です。

	TPN(延べ人数)	EN(延べ人数)	PEG造設数	新規介入数	延べ回診者数
1月	275	197	3	16	70



NST の介入患者さんは週 1 回の体重測定、SGA 評価の実施を宜しく願います。  
 TPN・・・中心静脈栄養 (高カロリー輸液)  
 EN・・・経腸栄養 (経鼻・胃ろう等からの経管栄養)  
 文責: NST 専従 管理栄養士 飛鳥田 智子